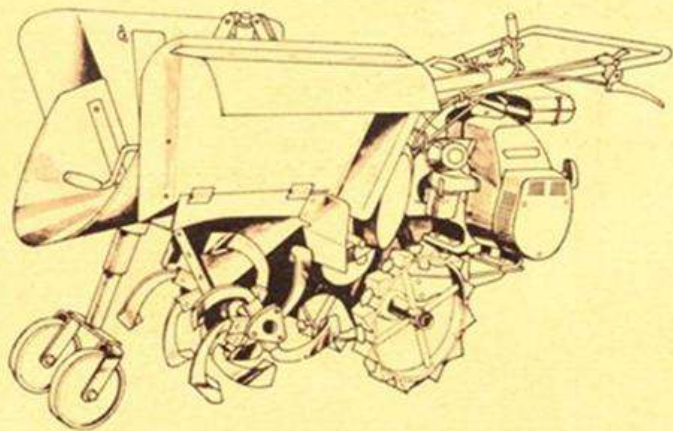


マメトラスコッパー

SR-240S

使用説明書



マメトラ農機株式会社

ごあいさつ

この度はマメトラスコッパーを御愛用頂きまして有難う御座います。

本機は土に関しては永い歴史と経験を持つマメトラ技術陣によって設計致しました小型溝掘機で建築土台の溝掘、U字溝掘に、また温室内の溝切、天地替えしに狭い場所でも隅々まで作業が出来ます。小型軽量で前進、後進がワンタッチ操作で出来ますから初めての方でも運転でき能率を上げることが出来ます。

御使用前にこの説明書をお読み頂いて適正な取扱いをお願いし、永く御使用戴けますようお願い致します。

目 次

1. 特 長	1
2. 仕 様	2
3. 各部の名称	3
4. 各部の組立	4
5. 運転前の注意	6
6. 運 転 操 作	8
7. 作 業 方 法	9
(芝) スコッパー取扱い要領	11

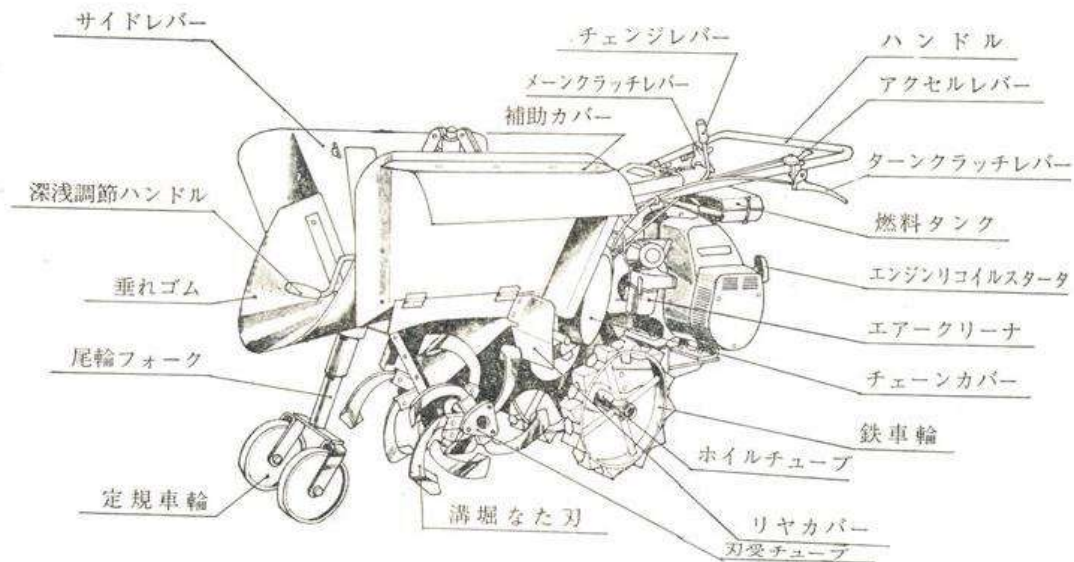
1. 特 徴

1. ミッションケースはプレス鋼板製で駆動部とロータリー部が一体構造ですから衝撃に強く軽量でかつ強靱です。
2. 作業速度は前進2段、後進1段で手元操作で簡単に切替えられます。
3. ロータリー変速は、3段階に切替えられます。溝掘専用では中速ですが特に固い所では低速で一旦耕してから中速に切替えます。
4. 作業能率は人力の8～10倍と高性能ですから経済的です。
5. 小型で軽量です。全長約1.5mですから狭い作業条件でも楽に機械が入り作業することが出来ます。
6. 溝掘から埋戻しがアタッチメントの取替えによって簡単に出来ます。
7. 溝掘幅は刃の組替えと刃受の交換によって35cmから48cmまで変えることが出来ます。
8. エンジンは定評のある4サイクルガソリンエンジンメイキG4 L6.5psを搭載していますから強力で始動も簡単です。
9. ミッション内部は特殊鋼を敵精加工し熱処理を施してありますから耐久性に優れ故障の心配はありません。
10. 豊富なアタッチメントが揃っていますから本機を利用して他の作業にも使用することが出来ます。
11. アフターサービスが完備しています。補修部品はいつでも揃っておりますので安心して御使用願えます。

2. 仕 様

本機型式	SR-240S・スコッパー	(芝) スコッパー SR-240S	エンジン型式	MG4L-4S
機体寸法	長さ×巾×高 1620mm 750mm 850mm	左に同じ	型 式	空冷4サイクル ガソリンエンジン
重 量	134kg(エンジンを含む)	145kg(エンジン含む)	排 気 量	236cc
主クラッチ	ベルトテンション式	左に同じ	出 力	4.5ps/1,800rpm~ 6.5ps/2,000rpm
ベルトサイズ	SA-44吋×2本	SA-41吋×2本	使用オイル	エンジン油 通常SAE30# (SC級) 冬期SAE20#
変速段数	前進2段 後進1段	左に同じ	最大トルク	2.52kg / 1,500rpm (出力取出軸)
ロータリー変速	3段	3段(中速使用)	使用燃料	ガソリン
作業幅	35cm~48cm	67cm	燃料タンク容量	4ℓ
溝深さ	45cm	—	起動方式	リコイルスターター
轍間距離	鉄車輪外巾 34cm	広幅タイヤ41.5cm	点火栓	B-6 または W14
刃の本数	曲り刃 4本 普通刃 14本	爪 18本 羽根 4枚	エアークリーナ	サイクロン式(特製)

3. 各部の名称

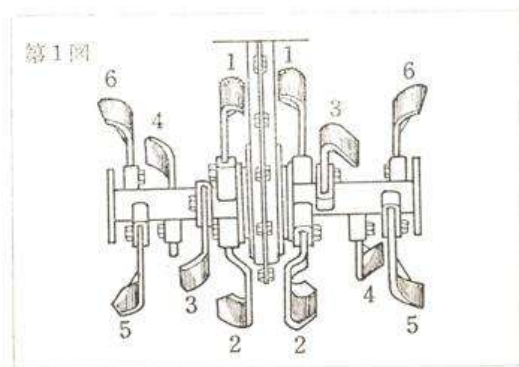


4. 各部の組立

1) 刃の配列と組付け

中心部の刃受（左右1、2）には調整座金を入れて組付けます。刃受1は内向けにし、刃受2は曲り刃を外向け、その他は全部外向けに組付けます。刃受1は刃受3が接近している方です。

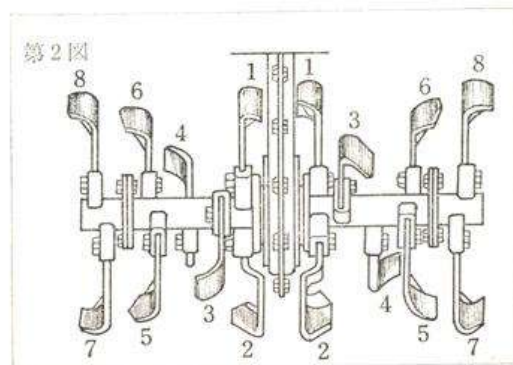
（第1図） 溝幅 35cm



溝幅を広くする時は、補助刃受を使用します。その場合は、合せ面のR及びLの文字を合せてください。（第2図） 溝幅 48cm

刃の締付けはゆるみ止めナット（◆印付）を使用し確実に締付けてください。

刃の回転方向に対して切る様にセットしてください。

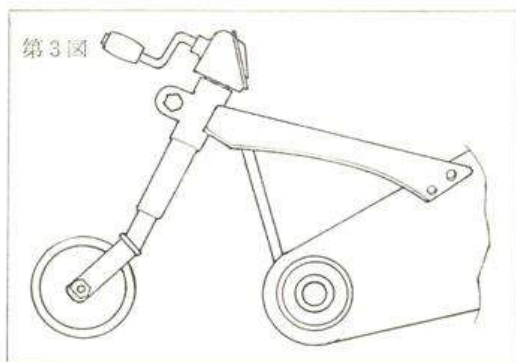


2) 尾輪フォーク

尾輪フォークは第3図のごとく進行方向に平行にして支持パイプを最下位にセットして下さい。あとは上下調整ハンドルのみの調整ですべてOKです。

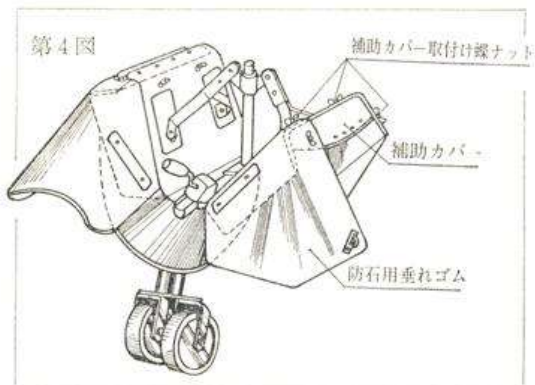
3) 垂れゴム、補助カバー取付け

垂れゴム、補助カバーは第4図のごとく取付けて下さい。



4) ハンドルの調整

ハンドルの高さは作業者の身長に合わせて調整可能です。ハンドル取付ボルトの後側ボルトM12φをゆるめて外し上下の孔で調整して下さい。



5. 運転前の注意

1) ミッションオイル

ミッション内のオイルは工場より出荷時に入れてありますが今一度注油口の蓋を外して確かめて下さい。

口元まで入っていない場合は補給して下さい。

ミッションオイルはSAE 90# ハイポイドギヤオイルを使用して下さい。容量2.7ℓ

ミッションのオイル交換は初期4～5カ月後2回目以降は年1回で結構です。

2) エンジンオイル

エンジンオイルはエンジン取扱説明書に詳しく書いてありますが冬期はSAE 20# (春秋30#) 夏季過負荷時は40# オイルを使用して下さい。

注量はエンジンを水平の状態で見油棒の上目盛まで入れて下さい。(第5図)

オイル交換は初期は10時間程度で交換、以降20～25時間毎に交換して下さい。また使用前には必ず点検して下さい。

3) エアークリーナーの手入れ

エアークリーナーはサイクロン方式を採用していますから標準クリーナーより除塵効率も良く長時間の使用に耐えますがホコリの多い所で使用される場合は週1回はクリーナーのフックを外し中のエレメントを石油または石鹼水で洗浄して下さい。(第6図)

第5図

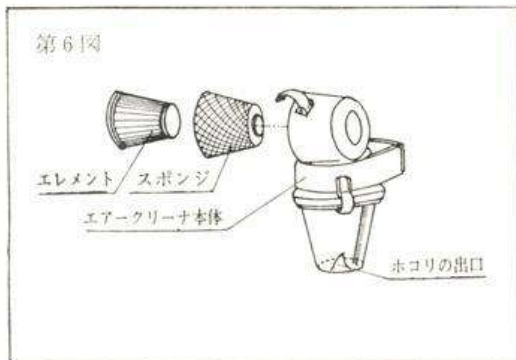


4) その他の注油

チェーンカバー内のチェーンには適時注油してください。注油口キャップを取りはずし、チェーンをスローで回転させてチェーンに直接注油してください。オイル約5cc。ターンクラッチワイヤー、テンションワイヤー、チェンジレバー、深淺調節ハンドル等各摺動部分には適量注油してください。

5) 各部の点検

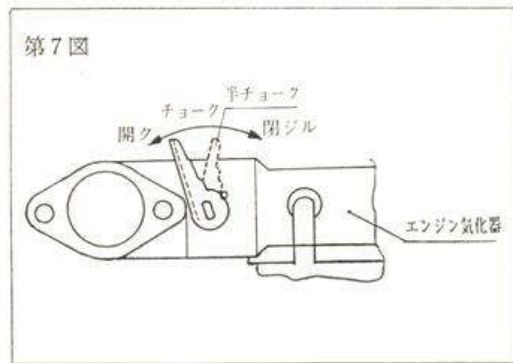
運転前に必ず各部を調べネジに弛みがあるときには締付けてください。



特に刃が弛んだまま作業をつづけますと事故のもとになる憂いがありますので注意してください。

6) エンジンの始動

エンジン始動の場合は必ずメインラッチを切りチョークを閉にして始動ロープを勢い良く引いて下さい。エンジンが暖かい時は半チョーク $\frac{1}{2}$ 閉程度で引く。始動したらチョークを全開にして下さい。(第7図)



7) エンジン回転中の厳守事項

エンジンの回転中は危険ですから次の事は行わないで下さい。燃料の補給、ベルトカバーの着脱、ロータリの刃の取替。

6. 運転操作

1) チェンジレバーの操作

チェンジレバーを操作する場合は、メインクラッチを切ってから行なって下さい。但し作業中、低速からバックに入れる場合はクラッチを切らなくとも操作可能です。

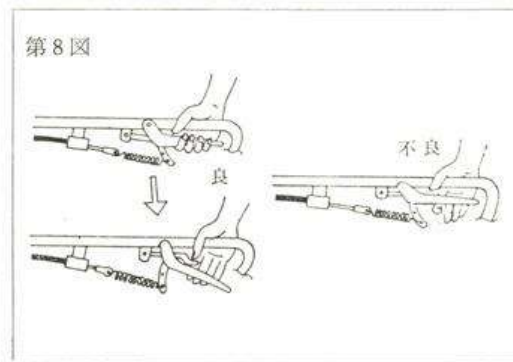
2) メインクラッチの操作

レバーを握りレバーが上がった状態でクラッチが入ります。クラッチを入れるには右手4本の指でレバーを握るとクラッチ固定金具がカチリと入りクラッチがロックされます。

クラッチを切る場合は、クラッチレバーとクラッチ固定金具の両方を一緒に握り同時に放すと切れます。

クラッチ固定金具のみ握りますと固定金具の凸部が摩耗したり切るのが固い状態になります。

(第8図)



3) ロータリ変速レバーの操作

ロータリの変速レバーの操作は必ずメインクラッチを切ってから操作して下さい。(中)が溝掘作業です。特に条件の悪い所で(中)で作業の出来ない場合は(低)で一旦起してから(中)に入れて下さい。レバーが(中)に入らない時にはロータリ刃を少し手廻しかまたは半クラッチ操作をして下さい。

7. 作業方法

- 1) 前輪上下調整ハンドルを廻して深さを決めます。前輪を上げると深く掘削することになりますが軟かい所でもあまり一度に掘削りしなすと泥の上りが悪くなりますので適当な深さに調整して下さい。
- 2) 最初3～4行程まではカバーを出来る限り下げて泥が溝より左右に広がるようにして作業を進め深くなるに従ってカバーを立てて下さい。

3) 深さが地表より25cm以上掘る場合は補助カバーを外さないと泥が上りませんので深く掘る場合は補助カバーを外して下さい。

4) 5～8cm程度の石は掘出して行きますが大きい石は手で掘出して下さい。

5) 狭い場所では前進、後進で作業を進めますが後退時はロータリと車輪が同一回転方向となりますので硬い圃場では後に機械が押戻されることがありますのでハンドルを下げてロータリ部を浮かせ気味にして作業をして下さい。

② スコッパー取扱い要領

はじめに

本機はゴルフ場の芝植、芝の張替え、生産芝の植付けの床作りと目土掛を同時に行える新しい芝用スコッパーです。

土掛けの量は自由に変えられ均一にしかも高性能ですから人力の10倍近い作業が出来ます。

1. 刃受チューブと刃の組付け

刃受の取付けはロータリー側より見て左側にR打刻の

もの  を右側にはL打刻のものをセットして

下さい。補助刃受にもR、L打刻があります。刃受の打刻（R、L）と組合せて下さい。

2. 刃受チューブはスプライン軸の皿モミ位置に合せて確実に締付けて下さい。

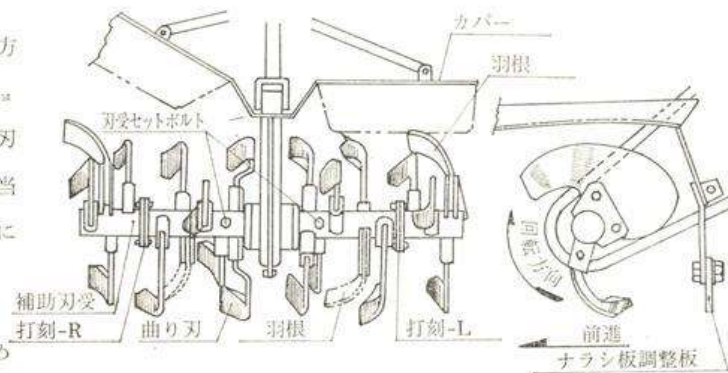
3. 刃の配列は右図の如く刃の曲りを回転方向に対し左曲りに取付ます。特にミッションケース中心部はR側のみ2本共に曲り刃を使用し2枚の調整座金で刃がケースに当たらないように組付けて下さい。（回転方向に注意）

4. 図の如くカバーは片側水平に片側は斜め

にして土の飛び加減を調整して下さい。

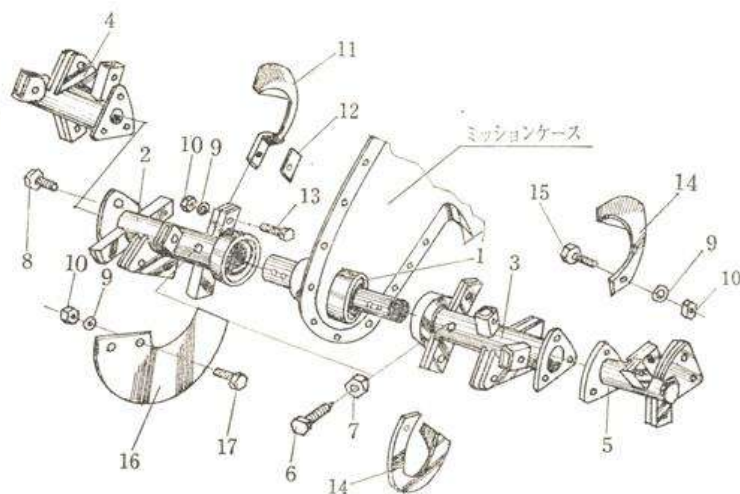
5. 土掛けの量は前輪の上下調整で行ない、ナラシ板で後に土が残らない程度に調整して下さい。（下げすぎないこと）

6. 風の吹く日は向風にならぬように風下から行うように心がけて下さい。



部品ご注文について

1. 消耗部品としてナタ爪・羽根・Vベルト
ローター軸シール等がございます。
2. 部品のご注文は必ず本図の図番・品名・
数量を御連絡下さい。



見出番号	図番	品名	1台 当り 個数	見出番号	図番	品名	1台 当り 個数	見出番号	図番	品名	1台 当り 個数
1	QLFY-35621319	オイルシール	2	7	MNT-1000L	ロックナットM10φ	2	13	M58-713	爪締付ボルト(31φ)	4
2	M58-751	刈受チューブ(右)	1	8	M52-725	ボルトM10×22φ	6	14	M58-1513	ナタ爪MN-10(左)	16
3	M58-753	刈受チューブ(左)	1	9	MSW-1000	バネ座金10φ	34	15	M52-724	爪締付ボルト(25φ)	15
4	M58-754a	補助刈受チューブ(右)	1	10	MNT-1000	点ロックナット10φ	20	16	M58-752	羽根(左)	4
5	M58-753a	補助刈受チューブ(左)	1	11	M58-1514	ナタ爪MN-11(左)	2	17	MBt-1020	ボルトM10×20φ	8
6	M40-502	ドラムセットボルト	2	12	R25-578	調整座金	8		VB-A42	VベルトA-42吋	2